(様式第二号) (A4)

変更届出書

変更 箇所		知	<u>E</u>					令和	年	月	B	
	仙 台	市長	殿	_				17.71				
		フリカ・ナ										
	発注者又は自主加	拖工者の氏名(法 (郵便番		ては商号又は		法者の氏名 電話番号	4)					l
		住所										
	(転居予定	定先) (郵便番	等号)	電話番号						
		住所										
	建設工事に係る資	f材の再資源化等	等に関す	る法律第1	0条第2項	の規定に。	より、下記の	のとおり変す	更を届け	ナ出ま	きす。	
				記								
	1. 工事の概要											
	①工事の名称											
	②工事の場所 ③工事の種類及び	 V規模										
		係る解体工事		用途		、階数		、工事対象床	面積の合	計		m2
		係る新築又は増勢	20工事	用途		、階数		、工事対象床				m2
	□ 建築物に	係る新築工事等	であって	新築又は	増築の工	事に該当し	ないもの					
				用途		、階数		、請負	代金			万円
		外のものに係る				± >.46/=		請負	代金			万円
	④請負•自主施工	[の別: □	請負	1		自主施行	•					
	2. 元請業者(請負	契約によらないて	「自ら施」	エする場合	は記載不	要)						
	フリカ [・] ナ ①氏名(法人にあ・	っては商号又は	名称及び	が代表者の	氏名							
	(郵便番号)	電話番号								-
	②住所 ②	. 平 日.)										
	③許可番号(登録 □ 建設業の											
	建設業許可	口 大臣		知事				号 (工事業)
		(監理技術者)日	6名									
	□ 解体工事 解体工事業₹			知事		무						
	技術管理者母			지⇒		7						
				<u> </u>								
	3. 対象建設工事の (請負契約によら					則を受け	た年月日					
	- 令和	年		月		目	_					
	4. 分別解体等の計	·画等										
	(建築物に係る角	解体工事につい 新築工事等につい										
		研楽工事等につけ ものに係る解体□			等について	ては別表3						
	により記載するこ	.と。					J					
	5. 工程の概要					(工事業の	조수ㅁ\	令和	左	В	_	
						(工事着手 (工事完了	予定日)	令和	年	<u>月</u> 月	日日	İ
(注音	(できるだけ図面、表等:)	を利用することとし、	記載する	ことができなり	いときは、「別	紙のとおり	と記載し、別	川紙を添付す	ること。)			

- □欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。
- 2 届出書に添付した対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真に変更がある場合には、新たな設計図又は写真を添付すること。

※受付番号

別表1

(A	4
建築物に係る解体工事	

変更 箇所	分別解体等の計画等								
14/21	建築物の構造		□木造□水造□		コンクリート造		鉄筋コンクリー	造	
		建築物の状況	□ 鉄骨造 築年数	ローコンクリー 年 、	トノロツク垣	棟	その他()
	建築物	周辺状況	その他(周辺にある施設	- □ 住宅) 商業施設	□ 学校		
	に関する 調査の		月辺にめる地政	□ 伝宅		何未旭 その他(
	結果		敷地境界との最短	瓦距離 約		m			`
			その他(建築物に	関する調査の結	里.	丁事	 着手前に実施す	ろ措置のは	<i>)</i> 7宏
		作業場所	作業場所	十分	<u>不</u> 不十分	工事	有于前(C天)地)	の担臣かい	1.12
		,,,,,,	その他()				
		搬出経路	障害物 □ 前面道路の幅員	有() □ 約 m	無し				
			通学路 🗆	有	無し				
		人 残存物品	その他(有)				
	建築物に関する	72 [] 755 [11	()				
	調査の	特定建設資材への	│ □ 無 │ □ 有						
	結果及 び工事	付着物)				
	着前に 実施する	 他法 石綿(注1)	│ □ 無 │ □ 有			(右の坦△	、具体的な措置	内宏を記す	
	措置の	今関 (大気汚染防	特定建設資材への付着		(行りが)口	、共体的な担固	.ド14で 記/	()	
	内容	係 止法·安全衛 生法石綿則)		有 □ 無)				
		フロン(フロン	□ 有(業務)	用のエアコン・冷凍	東冷蔵機器				
		排出抑制法	のうちフロン類が使われているもの) 無						
		その他	(有害物質(注2)の	有無や、その他』	必要事項		で関係法令等に	こ基づく届と	出状況
			を記入)			等を記入)			
	程①建	工程_ 築設備・内装材等		建築設備・内装	業内容材等の取り	外し	<u> 分別解</u>	体等の方法	<u> </u>
$I^{-}I$	ر ا ک	New York I was 1 1 1		□ 有 □ 無		□ 手作業・機械作業の併 併用の場合の理由()
		恨ふき材		屋根ふき材の取			□ 手作業	1(<u>′</u>
	業 内			┃ □ 有 □	無		□ 手作業・機械 併用の場合の理由)
	1/2/1	装材・上部構造部分		外装材・上部構		対壊し	□ 手作業 □ 系作業 機材	作業の併用	
				□ 有 □	<u>無</u> の取り壊し		□ 手作業・機械□ 手作業	作来の肝用	
	体 方 ⑤その	か 他		□ 有 □ □ その他の取り壊	無		□ 手作業・機械□ 手作業	作業の併用	
	法 ()	list also	□ 有 □ 無 □ 手作業			□ 手作業·機械	作業の併用	
		工事の工程の	□ その他()→(2)→(3)·	→(4)の順序)			
		□内装材に木材が含	その他の場合の理由() ①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し						
		JPI表例 (C/N/例 // 古	│ □ 可 □ 不可						
		裏物に用いられた建設資料	サの長の目はな	不可の場合の理	里由(1.5)
$I^{-}I$	廃 特定	建設資材廃棄物の種	類ごとの量の見込	 種類	量の見	トン 見込み	発生が見込	まれる部分((注)
	乗りみ及り物	びその発生が見込ま	れる建築物の部分	□ コンクリー ト塊	•	トン) [3	
	発生			□ アスファルト・) [] (3)	
	見			コンクリート規 □ 建設発生		トン	□ ⑤ □ ① □ ②) 🗆 ③	
	込 量 (注)(D建築設備·内装材等 ②屋	- - 根ふき材 3)外装材・上部	木材		ル	5		
	備考	TO THE PARTY OF TH	THE STATE OF THE	THE PERMIT CHANGE COMME					
1 1	Í								

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

注1: 石綿とは、吹付け石綿、石綿含有吹付けロックウール又は石綿含有ビニール床タイル等を言います。

注2:有害物質とは、特定建設資材以外に付着している石綿、PCB使用トランス等を言います。

建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)

変更 箇所		,	分別解体等の計画等				
	使用する特定建設 資材の種類		□ コンクリート □ コンクリート及び鉄から成る建設資材 □ アスファルト・コンクリート □ 木材				
		建築物の状況	築年数 年 、 棟数棟				
	建築物に	周辺状況	その他() 周辺にある施設 □ 住宅 □ 商業施設 □ 学校				
	関する調 査の結果		□ 病院 □ その他(m) 敷地境界との最短距離 約 m				
			敷地境界との最短距離 約 mその他()				
			建築物に関する調査の結果 工事着手前に実施する措置の内容				
		作業場所	作業場所 □ 十分 □ 不十分 その他()				
		搬出経路	障害物 □ 有() □ 無				
			前面道路の幅員約 m 通学路 □ 有 □ 無				
	建築物に関する調	 特定建設資材への付着	その他() 有				
	及び工事	物 (修繕・模様替工事のみ)					
		 他法令 石綿 <mark>(注1)</mark>	□ 有 (有の場合、具体的な措置内容を記入)				
	措置の内 容	関係(修 (大気汚染防止 繕・模様 法・安全衛生法					
		替工事 石綿則) のみ) フロン(フロン排	□ 無 □ 有(業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器の				
		出抑制法)	うちフロン類が使われているもの)				
		その他	(有害物質(注2)の有無や、その他必要 (近隣対策や関係法令等に基づく				
			事項を記入) 届出状況等を記入)				
	工	工程	作業内容				
	程①造成		造成等の工事 □ 有 □ 無				
	の	・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 □ 有 □ 無				
	作③上部	構造部分·外装	上部構造部分・外装の工事 □ 有 □ 無				
	内 ④屋根		屋根の工事 □ 有 □ 無				
	⑤建築設備・内装等		建築設備・内装等の工事 口 有 田 無				
	<u>⑥</u> その(也.	その他の工事 □ 有 □ 無				
		設資材廃棄物の種類ごとの 並びに特定建設資材が使					
	物れる建築	裏物の部分及び特定建設資の発生が見込まれる建築物	資材 □ コンクリー □ ① □ ② □ ③ □ ④				
	生部分		□ アスファルト・ □ ① □ ② □ ③ □ ④ コンクリート塊 トン □ ⑤ □ ⑥				
	 込 量		□ 建設発生 □ ① □ ② □ ③ □ ④ 木材 トン □ ⑤ □ ⑥				
	(注) (造成等 ②基礎 ③上部	構造部分・外装 ④屋根 ⑤建築設備・内装等 ⑥その他				
	備考						

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

注1:石綿とは、吹付け石綿、石綿含有吹付けロックウール又は石綿含有ビニール床タイル等を言います。

注2:有害物質とは、特定建設資材以外に付着している石綿、PCB使用トランス等を言います。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

変更 箇所	分別解体等の計画等							
	工作物の構造 (解体工事のみ)	□ 鉄筋コンクリート造 □ その他()						
	工事の種類	□ 新築工事 □ 維持・修繕工事 □ 電気 □ 水道 □ ガス □	□ 解体工事 下水道 □ 鉄道 □ 電話					
		□ その他()					
	使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)	□ コンクリート□ コンクリート及び鉄から成る建設資材□ アスファルト・コンクリート□ 木材						
	工作物の状況 工作物	集年数 <mark></mark> 年 その他()					
	に関する 周辺状況 調査の	周辺にある施設 □ 住宅 □ 商業 □ 病院 □ その(
	結果	敷地境界との最短距離 約 その他(m					
		工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容					
	作業場所	作業場所 □ 十分 □ 不十分 その他()						
	搬出経路 工作物	障害物 □ 有() □ 無						
	に関する	前面道路の幅員 約m 通学路 □ 有 □ 無						
	調査の 結果及 特定建設資材への付着	その他(
	び工事 物(解体・維持・修繕工事 着手前 のみ)	(<mark>)</mark> □ 無						
	に実施 他法令関 する措 係(解体・ (大気汚染防止	□ 有 □ 特定建設資材への付着	(有の場合、具体的な措置内容を記入)					
	置の内 維持・修繕 法・安全衛生法 容 工事のみ) 石綿則)	(□有□無)						
	その他	□ 無 (有害物質(注2)の有無や、その他必要	(近隣対策や関係法令等に基づく届出					
		事項を記入)	状況等を記入)					
	工工工工	المنافع المناف	分別解体等の方法					
	社 工程 工程 「①仮設	作業内容	(解体工事のみ) □ 手作業					
	との企業を		□ 手作業・機械作業の併用 □ 手作業					
	作	□有□無	□ 手作業・機械作業の併用					
	内。	基礎工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用					
	及り、一次には、一次には、一次には、一次には、一次には、一次には、一次には、一次には	本体構造の工事 □ 有 □ 無	│ □ 手作業 │ □ 手作業・機械作業の併用					
	解 ⑤本体付属品 体	本体付属品の工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用					
	方 ⑥その他 法	その他の工事) 口有 口無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用					
	工事の工程の順序 (解体工事のみ)	□ 上の工程における⑤→④→③の順序 □ その他()						
	,	その他の場合の理由()					
	工作物に用いられた建設資材の の見込み(解体工事のみ)	トン						
	廃 特定建設資材廃棄物の種類ごと 棄 の見込み(全工事)並びに特定数	書設 埋規 単り先込み	使用する部分又は発生が見込まれる 部分(注)					
	物 資材が使用される工作物の部分発 築・維持・修繕工事のみ) 及び特							
	生 設資材廃棄物の発生が見込まれ 見 作物の部分(維持・修繕・解体工	1る工 🛘 アスファルト・						
	込 み) 量	□ 建設発生 木材 トン						
	(注) ①仮設 ②土工 ③基礎	④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他						
	備考							

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

注1:石綿とは、吹付け石綿、石綿含有吹付けロックウール又は石綿含有ビニール床タイル等を言います。 注2:有害物質とは、特定建設資材以外に付着している石綿、PCB使用トランス等を言います。